

< 参考資料 >

平成 29 年度 予算編成の基本的な考え方

1 基本目標

- (1) 子育て・教育のまちづくり
- (2) 安全・安心なまちづくり
- (3) 地域の自立と活力のあるまちづくり

3 優先施策

子育て支援・教育の充実

妊娠から出産、子育てまで継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して子どもを守り育てるための教育施策を推進する。

(こども医療費の完全無料化、(仮称)子ども図書館の整備、(仮称)中泉こども園の基本・実施設計など)

市民生活の安全・安心の確保

市民の生命と財産を守るため、防災・減災対策の推進や消防・救急体制の充実、防犯、交通安全対策の推進を図る。

(空き家・木造住宅の除却・耐震シェルター設置への助成制度の創設、運転免許証自主返納支援制度の創設など)

福祉の充実と健康づくりの推進

福祉サービスや地域医療体制の充実、地域で支え合う体制づくりの推進などにより、市民が健康で安心して暮らせる地域を実現する。

(成年後見制度報酬助成の対象者を拡大、介護予防・日常生活支援総合事業、家事援助ヘルパーの養成など)

都市基盤の整備と快適な生活環境の確保

市民の日常生活を支える上下水道などの生活基盤の整備や道路・公共交通などの交通ネットワークの形成を進めるとともに、自然環境の保全、循環型社会の構築に向けた取り組みを進める。

(大池周辺整備、福田漁港アクセス道路の整備、大島排水ポンプ場の整備など)

コミュニティの活性化とスポーツ・文化の振興

交流センターを拠点とし、地域住民のまちづくりへの参加・交流、コミュニティ意識の醸成を図るとともに、スポーツに親しむことができる環境づくり、歴史・文化の適切な保全・活用を図る。

(地域づくり応援一括交付金の創設、(仮称)磐田市文化会館の整備、卓球場・アーチェリー場の整備など)

産業の育成・支援と移住定住の促進

既存産業の活性化や創業・新産業の創出などによる雇用の確保に加え、本市が持つ様々な魅力を効果的・戦略的に発信し、交流人口の増加、移住・定住の促進を図る。

(マウンテンビュー経済交流の推進、地産地消型エネルギー供給事業への参画、ワークピア磐田に創業支援拠点(コワーキングスペース)を整備など)